

<p>[科目名]</p> <p style="text-align: center;">韓国語会話</p>	<p>[単位数]</p> <p style="text-align: center;">2 単位</p>	<p>[科目区分]</p> <p>アカデミック・コモン・ベーシックス</p>
<p>[担当者]</p> <p style="text-align: center;">リー ヘ キョン 李 恵 慶</p>	<p>[オフィス・アワー]</p> <p>時間:詳しくは授業内で提示する 場所:同上</p>	<p>[授業の方法]</p> <p style="text-align: center;">講義</p>
<p>[科目の概要]</p> <p>韓国語入門の履修者、または同等のレベルが認められる人を対象にした授業である。入門で学んだ基本文法を固めながら、日常会話に必要な表現・文型を中心に実践的なコミュニケーション能力を身につけることが第一のねらいである。</p> <p>同じ語順をもつ韓国語と日本語は、特別に発想の転換を求められることなく理解できることから、初級のレベルであれば、言葉を入れ替えるだけですぐに会話を楽しむことができる。そのため、まず会話の基礎となる語彙力の向上に重点を置きながら、繰り返し練習を行うことで自然に会話のなかで使えるようにする。</p> <p>授業は基本的に下記の授業スケジュールに沿って進めるが、必要に応じてMVや映画、新聞、ブログ等、様々な資料を多く取り入れる予定である(受講生の希望や要望、レベル等、諸事情により変更になることがある)。韓国の文化や社会にも触れ、韓国語をもっと身近に感じ、楽しみながら学ぶことができる。</p>		
<p>[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか]</p> <p>日本と韓国は歴史的・文化的・地政学的に最も近い隣国として、これまで長い間、様々な形で交流を深めてきた。あらゆる分野においてグローバル化が進行している今日、隣国同志の両国の関係はより一層広範かつ緊密なものになると予想される。そのなかでお互いを深く理解し、信頼関係を築いていくことは何より重要なことで、その最も効果的な方法が相手の言葉を学ぶことである。なぜなら、人間の文化や社会を根本で支えるものが言語である以上、外国語を理解することはその国を理解し、人々の思考と文化を理解することに繋がるからである。</p> <p>とりわけ、日本人にとって韓国語は最も習得しやすい外国語である。そのため、学んですぐに会話を楽しめ、旅行や友達づくり、韓国文化理解に役立てて自分の世界を広げることができる。また、上達するのも早いので、レベルアップを図れば将来仕事に生かし、日韓の橋渡しとして大いに活躍することも可能である。</p> <p>外国語が苦手な人はぜひ韓国語にチャレンジしてみることをお勧めする。これまでの外国語と違い、日本語と同じ文法構造をもつ韓国語を学ぶことで、外国語に対する苦手意識が克服できるかもしれない。</p>		
<p>[科目の到達目標(最終目標・中間目標)]</p> <p>本科目の最終目標は初中級レベルの日常会話に必要な語彙と表現を身につけることである。そして韓国語の背景にある朝鮮半島の文化や歴史・社会への興味を高めることがもうひとつの狙いである。具体的には以下の4つが挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日常生活の様々な会話の場面のなかでよく使う表現を身につける ② 日常会話に必要な語彙と文型を覚え、会話の運用能力を高める ③ 「聞く」「話す」を中心に韓国語コミュニケーションを楽しむ ④ 韓国語から韓国・朝鮮半島の文化、社会への理解を深める 		
<p>[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]</p> <p>実践的な会話能力を身に付けることが第一の目的なので、受講者の積極的な参加が求められる。また、韓国語入門に比べ、難易度が上がるため、授業は丁寧かつゆっくり進めていく予定であるが、会話の基礎となる単語をしっかりと覚える必要がある。身のまわりにあるものやよく使う単語、興味のあるもの・こと等、身近なものから韓国語の単語の数を増やしていくとよいと思われる。</p>		

<p>〔教科書〕 特になし(必要に応じてプリントを配布します)</p>	
<p>〔指定図書〕 必要に応じて講義中に示します。</p>	
<p>〔参考書〕 必要に応じて講義中に示します。</p>	
<p>〔前提科目〕 韓国語入門 ただ韓国語の読み・書きができ、韓国語入門履修と同等のレベルが認められた場合はその限りではない。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>評価は出席および授業への参加度・貢献度 50%、授業中に提示した課題(ミニレポート)10%、期末試験(プレゼンテーション)40%から総合的に行う。なお単位取得には上記の出席・課題・期末試験がすべて揃わなければならない。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>A:80点～100点 B:70点～79点 C:60点～69点 D:50点～59点 F:50点以下</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>遅刻・欠席はしないで、必ず単語を覚えて復習を行う。また、授業についての質問や要望、配慮が必要な場合等は遠慮せず申し出てください。韓国語はもちろん、韓国の文化や社会に関心のある人、大歓迎です。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション 内 容:授業について概観し、今後のスケジュール等について確認する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習① 内 容:時制のおさらいと練習</p> <p>教科書・指定図書 特になし</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習② 内 容:願望の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第17課</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習③ 内 容:可能と不可能の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第16課</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 推量・意志・未来の表現 内 容:推量・意志・未来を表わす表現と練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第20課</p>

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう① 内 容:並列と理由・順序の表現(〜て)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう② 内 容:理由・発見の表現(〜したので、〜してから)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):異文化コミュニケーション① 内 容:韓国映画を楽しむ</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):異文化コミュニケーション② 内 容:韓国映画を楽しみ、議論する</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう③ 内 容:目的表現(〜しに)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう④ 内 容:計画・意図の表現(〜しようと)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑤ 内 容:状況・比較・対照/期待外れの表現(〜したけど、〜したのに)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑥ 内 容:経験表現(〜したことがある/ない)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑦ 内 容:状況の変化・受け身表現(〜になる、〜くなる、〜(ら)れる)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑧ 内 容:能力表現(〜することができる/できない)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
試験	<p>プレゼンテーション(場合によっては筆記試験を実施する)</p>

*授業スケジュールや授業内容等は受講者の人数やレベル等によって変更になる場合がある。